

令和6年度 第1回大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和6年6月21日（金）午後1時30分～午後2時30分

場 所：大和町役場 3階 302会議室

出席者：浅野 喜高会長、中村 信男委員、若生 昇委員、小川 実委員、早坂 秀男委員、
高橋 高委員、佐藤勝志委員、堀籠 美江子委員、関澤 京子委員、高橋 義喜委員、
西川 和宏委員、佐藤 雅之委員、二瓶 智樹委員、江本篤夫委員
出席委員 14人

欠席者：長尾勝吾委員、徳永幸之委員、工藤浩太郎委員、
宮城県交通運輸産業労働組合協議会は委員調整中

事務局：まちづくり政策課 遠藤課長、菅野、木村

1. 開 会 進行 遠藤課長

過半数出席のため、会議が成立する旨報告。

2. 委員紹介

3. 委嘱状交付（代表受領）

株式会社 大和タクシー 代表取締役 中村信男 様

4. あいさつ（町長）

令和6年度第1回公共交通会議の案内をさせていただき、お集りいただきありがとうございます。冒頭、事務局からもありましたとおり、委嘱状の記載について誤りがありましたこと私からもお詫び申し上げます。常日頃から皆様におかれましては、本町の交通行政はもちろんのこと、町政全般にわたり様々なお立場からご理解、ご協力いただいていること、改めて御礼申し上げます。

さて、公共交通であります、大和町はご承知のとおり225Km²と広い面積を有しており、人口密度的には低い中で点在している状況があって、少子高齢化の波を受けて交通弱者がますます増えていくであろうという地区と、相反する形で都市化が進み団地により子どもさんが多い、若い世代が多いところとますます二極化の問題がでてくるのだらうと考えています。そういった意味でも今お住まいいただいている方になるべくご不便をおかけしないようにということで、即効性のあるものとして高齢者のタクシー助成を昨年度まで年間6,000円だったところを18,000円まで上げさせていただきましたところ。その根拠としては、昨今の物価高騰等により初乗り料金が750円に値上がりしたことを加味して、月に1度買い物でも通院でも、往復分くらいは町として見るべきではないかと考えて予算化をさせていただきました。一方で、昨年11月に台湾の半導体会社が大衡村の工場誘致がなされ、これから建設工事が具体的に始まろうとする中、幸いかなホテル用地の引き合い等々かなり来出しております。そういっ

た中、バスの路線が充実していくようなことがあれば、それに越したことはないと思いますが、タクシー等末端までの交通の便の不便の解消が鍵になってくるのだらうと思っています。ぜひ、これからは日本語のみの対応ではなく多言語対応も考えていかなければならないのだらうなと思います。

加えて、申込などについてはアプリを使用した中でうまく言葉を交わしていくことやキャッシュレスの対応も必要になってくるのではないかと思います。目の前にはさまざまなビジネスチャンスが広がっていることから、それをどのように広げて総合的に町の経済の活性化に繋げていくかという部分でも公共交通のあり方、検討は非常に重要なキーフアクターになるのではないかと思いますので、皆様におかれましては、2年間ではあります但しさまざまご意見をいただきながら、事故のないよう安心安全な交通手段の充実に向けてご尽力いただきますことお願いを申し上げますとさせていただきます。本日からよろしくお願いいたします。

5. 事務局紹介

6 議事

設置要綱第7条の規定により、浅野副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第1号 令和5年度事業報告について

（資料P1～2参照）13：42～13：45 事務局（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第1号 【原案どおり承認】

議案第2号 令和6年度事業計画案および収支予算案について

（資料P3～4参照）13：47～13：52（菅野）より説明

浅野町長：加えて説明させていただきたい。町民バスの停留所に関して、この辺に関しては宮城交通の社長ともお話をし、決して現状の路線バスに影響を及ぼすものではなく、宮城大学構内から乗り換えだと不便なため、バス停を通じてより宮城交通のバスに乗り換えがしやすくなるのではないかと考えているもので、内諾を頂戴している。JCHO 乗り入れに関しては、大和町民がバスで行こうとすると一度泉中央まで行ってから乗り換えをしなければならない。宮城大学のところからは出ているものの、午後の便しかない。診察時間前に行く便がないことから、増便の打診をしたが、なかなか難しいとの話の中から、朝の便だけでも JCHO まで乗り入れができないかと考えているもの。これから協議しなければならないことは多くあるが、試験的な運用を始めさせていただければと考えている。

若生委員：宮城交通とも協議をして、重複しない形であれば利便性の向上の観点から延伸は良いのではないかな。

浅野町長：宮城大学前の反対側のバス停も使わせていただきたいと考えている。小中学生の学力向上を狙い、宮城大学の学生の力もお借りして授業時間以外に塾講師をお願いしたいと考えている。その中でこちらに来る唯一の手段であるため、優待パスなども考えながら課外授業のような形が取れないかなとも考えている。

高橋委員（県交通政策課）：もうすでに事務局でもデータ等を基に接続性を増すための取組を考えているとお聞きし、民間との競合ではなく、接続で公共交通の足がないところへ公共交通でアクセスできる仕組みを考えられていることは県としてもありがたい取組みだと考えている。直接的な財政支援のメニューがないため心苦しいが、事務局で困りごとがあればお力添えさせていただきたい。

議案第2号 【原案どおり承認】

議案第3号 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請および申請に係る地域公共交通計画の追記について

（資料P6～15参照） 14：00～14：09（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第3号 【原案どおり承認】

議案第4号 大和町地域公共交通会議設置要綱の改正について

（資料P17参照） 14：10～14：15 事務局（菅野）より説明

特に質疑なし 議案第4号 【原案どおり承認】

7. 報 告 14：16～14：20

・令和5年度町民バス・デマンドタクシーの運行状況について

（資料P21～23参照） 14：16～14：21（菅野）より説明

質疑

高橋委員（県交通政策課）：行きと帰りで600人程度違う。家族が通勤時に送って行って、帰りは公共交通というケースが多い。他の事例だと帰りの利用の方が多い印象を持つが、このあたりについて分かれば教えていただきたい。

事務局：高齢者の利用が多く、朝の時間は病院等に合わせて来れる。その一方で帰りの時間が読めない、時間が合わないというケースもあるため、高齢者タクシー券等を利用してデマンドではなく、一般のタクシー利用で帰る方も多いのが現状であ

る。どうしてもデマンドタクシーは定時の時間が決まった運行になっており、1時間前までの予約が必要となる。そのあたりには課題もあるのではないかと見ている。

8. その他

浅野町長：デマンドタクシーの運用の仕方だが、スマホを使わない高齢者層が多い印象を持つと思うが、実際のところはそうでもない状況だと思う。今の運行の仕方は堅苦しく、実用的ではないのではないかなと思う。さまざま国交省なりの試験的なメニュー的なものがあればタクシー業者と絡めてシステムの導入等に手をあげたいとも考えている。そういった希望があればぜひお声をいただきたい。

加えてになるが、仙台大衡線の拡張の話と町民バスの宮城大学のバス停共用について、宮城交通とお話をした際に、高速バスがどうなるかとお伺いした。それは、吉岡西部の開発を行っている中、工業団地が西に広がっていく予定、大衡村の団地も含めて、どのルートでという話をした時に、新しい幹線道路ではなく、人がいるところを通るのが望ましいとの話だった。そのため、現在の自衛隊大和駐屯地前を通るルートを当面継続するという見解をいただいた。以前から、仙台土木事務所へもお話しているが、そこのバス停のところで渋滞が生じてしまうため、両サイドに町有地があるためバス停兼、引込みのような形で町として土地の提供をしても構わないため渋滞緩和と事故防止のため、県道整備と併せてバスの引込みを作られてはどうかと県へ話をしている。町だけではなく、運送事業者、交通渋滞の緩和に寄与すると考えているため、県警サイドからもお話いただけると進みやすいのではと思っている。吉岡升沢線までの開通は決定事項で動き出しているが、大衡村までについては、村井知事へ促進要望を行った中で令和11年度までは開通させたいとのお話を伺った。しかし、当面は大瓜を回る車と、自衛隊側へ回ってくる車と二極化してしまうのではないかなと思っており、ローソンがある交差点が変則であるため何とか道路改良しないと渋滞を招くのではないかと併せてお話をしている。

公共交通の定時運行にも関わる部分もあると思うため、関係する皆様からご意見として大和町が問題提起していることをお伝えいただけるとありがたい。

若生委員：そうだと思う。夏場はいいが、特に冬場、雪がふるとあそこの部分はすごく渋滞する。

中村委員：渋滞の話だが、半導体の会社が来るとなれば、大和町の西部から大衡まで、片側1車線ずつ。1車線ずつでは渋滞するのではないかな。今のキタセキのところから電話局付近までだいたい800m、朝晩渋滞している。信号は5回くらい待つ。

トヨタから6時に頼まれるが、普段は吉岡まで1,950円くらいで済むが、夕方だと2,450円くらいまでになる。そういったところにも影響が出ているため考えないといけないと思う。

大和町長：大衡仙台線については基本的に片側2車線ずつで繋ぐ計画。ただし、開通させるのが先という考えからまずは片側1車線ずつになる。早めて欲しい話はしているし、奥田のところも大衡村長から要望している。なかなか単独では難しいため期成同盟会を発足し取り組んでおり、引き続き要望していく。

9. 閉 会 14:30